

永山ルツ子（静岡英和学院大学 学長）

2023年2月22日

聖書 マタイによる福音書 18章10節～14節

讃美歌 21-358 「子羊をばほめたたえよ！」

「あなたがたは、これらの小さい者のひとりをも軽んじないように、気をつけなさい。あなたがたに言うが、彼らの御使たちは天にあって、天にいますわたしの父のみ顔をいつも仰いでいるのである。

〔人の子は、滅びる者を救うためにきたのである。〕

あなたがたはどう思うか。ある人に百匹の羊があり、その中の一匹が迷い出たとすれば、九十九匹を山に残しておいて、その迷い出ている羊を捜しに出かけないであろうか。

もしそれを見つけたなら、よく聞きなさい、迷わないでいる九十九匹のためよりも、むしろその一匹のために喜ぶであろう。

そのように、これらの小さい者のひとりが滅びることは、天にいますあなたがたの父のみこころではない。」

### ボブという名の猫

2月22日は猫の日です。

実は、聖書に「猫」が出てくるのは『エレミヤの手紙』第21節で、「その体や頭の上を、こうもりやつばめ、小鳥が飛び交い、猫までやって来ます。」という箇所だけです。なぜか、聖書では、羊や鳩、馬などの動物はよくでてきますが、猫は先ほどの1箇所以外まったくでてきません。

私自身、清水の魚市場で保護された猫を飼っていることもあり、今日は猫をテーマにした映画を紹介したいと思います。

皆さんは、「ボブという名の猫」という映画を知っていますか。

この映画はホームレスのジェームズ・ボーエンさんが自らの体験をつづったノンフィクション小説「ボブという名のストリート・キャット」という本を題材に描かれています。映画には、実在の茶トラ猫のボブが出演しています。

行き倒れ寸前だった野良猫のボブは、ジェームズさんに拾われ、生活を共にします。ジェームズさんがホームレス支援の雑誌を販売するときは、ジェームズさんの肩に乗ったり、

ジェームズさんが路上演奏をしているときは、側で座って見守っていたようです。それが評判となり、ジェームズさんやボブのことが取り上げられるようになりました。

タイトルから推測すると、猫が活躍した話か？と思う内容ですが、この映画では、ロンドンでストリート・ミュージシャンとして生計を立てていた孤独なホームレスの青年ジェームズさんが、野良猫のボブと出会ったことで、薬物依存を乗り越え、生きる希望を見いだしていく過程が描かれています。

このジェームズさんは、ホームレスで、どんなに厳しい生活におかれても、常に人や猫に対して思いやりをもって接することができる人でした。

お金がなくて、自分は食べることができなくても、ボブに食事を与えたり、ボブが病気になったときは、獣医につれていき薬を与えたりしました。

また、薬物依存時代の仲間が、ジェームズさんに助けを求めてきた時も、自分の僅かなお金をわたしたりしていました。

彼の心は決して貧しくはなく、むしろとても愛情豊かな方だと思います。

ジェームズさんは、「野良猫のボブがなぜ僕を選んでくれたんだろうか？」と毎日考えていたといいます。なぜなら、ジェームズさんの人生は、ボブを優先して考え始めてからすべてが変わっていったからです。

今回、皆さんに紹介した聖書の箇所、「あなたがたは、これらの小さい者のひとりをも軽んじないように、気をつけなさい」。小さな命を救い、慈愛の心をもったジェームズさんを、ボブは希望のある未来へと導いてくれた天使のような存在に思えてきます。

私たちは、99匹と1匹を比較したとき、数量の多い方を優先しがちです。しかし、聖書での羊の例えは、数量ではなく、目につきにくい小さいもの、見落としてしまいがちな、忘れられてしまいそうな人や動物などにも目を向け大切にしなさい、寄り添いなさい、と私たちに教えているのではないのでしょうか。

では、祈りましょう。恵み深き天の神さま。

こうして静岡英和女学院中学校・高等学校の生徒さんたちや先生方と一緒にあなたの御前に朝の祈りを捧げることができますことを感謝いたします。

多くの経験の中で、人を愛し、人のために尽くす働きをなし、生きる意味をつかむことができますように、どうか一人一人をお守りください。

そして、一人一人が自分自身を愛される価値のある人間だと思い、そしてその思いをまた周りの人に伝えていけるよう、支えてあげてください。

日々の生活の中で、小さきものや悩みがあるものに寄り添える人となることができますようにお導きください。

新型コロナウイルスの感染はまだ続いていますが、生徒さん、教職員及びご家族そして地域の方々の健康を守り、1日でも早く以前のような日常生活が取り戻せることができますようにお守りください。

トルコ・シリアの地震で多くの方々が犠牲になりました。どうぞ被災者の方々の心身が癒され、多くの方々に支援の手が届きますように。隣人を自分のように愛しなさい、という学院聖句の通り、世界中の多くの人々が世界平和を願い、1日でも早く、国際社会が平安な暮らしになれるようお導きください。

この感謝と願いを主イエス・キリストの御名によってお祈りいたします。